

消費者だより

役員・理事からのメッセージ

(野谷 達子)

いよいよ梅雨の時期になってきましたね。何となく気分が重くなりがちですが、あじさいのいきいきとした姿が心をいやしてくれます。

ところで皆様「グリーンコンシューマー」ってご存じですか？環境に配慮した消費行動を通じて、持続可能な社会実現を目指す消費者のことです。たとえば必要なものを必要な分だけ買う。使い捨て商品ではなく長く使える丈夫なものを選ぶ。容器や包装はないものを優先し次に最小限のもの、また再利用できるものを選ぶ。科学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ。自然と生物多様性をそこなわないものを選ぶ。リサイクルされたものリサイクルシステムのあるものを選ぶ。などなど。身近なところから賢い消費者を目指していきましょう。



活動紹介 ①

定期総会を開催しました

4月25日(金)、プラザ万象会議室において第55回定期総会が開催されました。会長挨拶、横川市生活安全課課長様の挨拶の後、議事に移り、令和6年度事業報告・収支決算報告並びに、令和7年度事業計画・収支予算案が上程され承認されました。その他、記念事業基金を今後の継続的な活動維持のための事業運営基金とする規約改正について上程され承認されました。講演会では、観光誘客課の原田



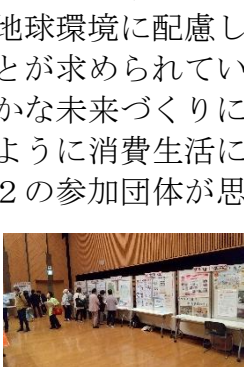
芳広氏による「新幹線開業後のまちづくりの概要」についてお話を伺いました。長年敦賀市のまちづくり事業に携わり、予算確保に苦慮しながら金ヶ崎エリアの開発などのプロジェクトに取り組んでこられたことや、積極的に他県にも出向き、地域の人とのつながりを作ることなどで、関係人口を増やす取り組みを進めていることなどを伺いました。まちづくりへの情熱や地元愛が伝わるととても良いお話でした。



消費者フォーラムに参加して

5月31日、AOSSA（アオッサ）8階の県民ホール・アトリウムにおいて「イキイキ消費者総合フォーラム in 2025」が開催されました。

今年のテーマは「明日の地球を救うため消費者にできること グリーン志向消費者～どのグリーンにする？～」です。かけがえのない地球を守り、持続可能な社会を将来世代に引き継いで行くためには、私たち消費者が地球環境に配慮した消費行動を選択していくことが求められています。県民が安全・安心で豊かな未来づくりに向けて、自ら考え行動できるように消費生活に関する学びの機会でした。22の参加団体が思いを込め試行錯誤したブースが設けられています。展示物を見てお話を聞きクイズラリーで楽しみながら勉強するふれあいの時間です。



また、ステージ発表がありました。鯖江市くらしをよくする会の寸劇「ロマンス詐欺防止 心の隙間に」を楽しませていただき、福井農林高校の「持続可能な未来へ～トマト栽培と環境配慮型消費の実践～」の発表、福井県のブランドとして甘くて美味しく安価なトマトを掲げたいと研究している若い力を目のあたり

にしました。(株) glow は、「地域資源の活用とカニ殻の有効活用」ということで、蟹の甲羅を使ったかにエキス入りの食用油を開発したとのことでした。福井県の名物料理ズワイガニ、廃棄になっている甲羅を活用できるかを考えぬいた賜物です。とても美味しいとのことでした。

小物づくりのコーナーも人気でした。体験教室では、防災用携帯トイレの使い方を真剣に、笑いを交えての勉強です。

午後はテレビでおなじみの弁護士菊池幸夫先生の講演会です。「身近な金融トラブル問題の対処法～実態を学んで、心豊かな人生を～」身を持った経験と笑いを交えたお話でした。



詐欺被害は年々増加しています。福井県内においても件数もさながら金額も相当なものです。手口もオレオレ詐欺から始まり最近はロマンス詐欺、投資詐欺と後を絶ちません。寂しいことですが、「人の口を信用するな」という言葉を頭の隅においておくことも必要なのかもしれません。いろいろな事を学べた一日でした。

皆様も一度足を運んでみたらいかがでしょうか。「消費者フォーラム」は、来年も開催されると思います。皆様の目で耳で楽しみながら一緒に学んでみませんか。

活動紹介 ②

きらめきフェスティバルに参加して

6月22日(日)、福井県生活学習館(ユー・アイふくい)において、“ふくいきらめきフェスティバル2025”が、ふくい女性財団設立30周年記念事業として開催されました。



記念講演は、“新たなことにチャレンジ！人生をもっと楽しく～わたしの未来はわたしが決める～”と題して、産婦人科医、医学博士、産業医のテレビでもおなじみの高尾美穂氏の講演を聞きました。子どもの頃の話から始まり、自分はまわりと違っていてもいいと達観。イメージして先を見て、私らしく生きたいと両親が選択の自由をさせてくれたというSDGsの5番「ジェンダー平等」の話から、体の調子がよくない状態をなるべく減らす。その原因として、ホルモン、生活習慣、突発的出来事があり、毎日の過ごし方を見直すことが大切である。自分の生活、時間の使い方はコントロールできる。自分の為の時間を使う事が新しいチャレンジの土台となる。まず自分を知る。私って何が好きか？何が得意で何が苦手なのか？自分の好きをのびしていく事が大切。幸せは自分だけの喜びにしておかないで、分かち合うことで喜びを増やす。そして、今の幸せを当たり前と思わない。感謝しありがたいと思うことが大切である。自分の人生は、自分で選んでいく。待っているのではなく、出かけて行く。やりたい事を書き出して「したいことリスト」を作る。人は変えられないが、自分を変えられる。また、納得のいく人生を、楽に生きられるし、自分が幸せであるということは、まわりの人をも幸せにできる。これが必須条件である。私たちはいつだってチャレンジできる。一歩踏み出しましょう！と語られました。今までのお話を通し、まさにそうだと思います。



私は、夫を亡くしてから、ただ毎日少しでも健康でいようと過ごしてきましたが、お話を聞いてもっともっと、色々なことにチャレンジしていけないとだめだなと感じました。

午後は、魔女の宅急便の作者「角野栄子の物語が生まれる暮らし」を鑑賞しました。89歳にして、私たち以上に元気でハツラツとした若々しい姿に圧倒されました。

私たちも、もっともっとポジティブに生きていきたいと思わせていただいたひと時でした。



インフォメーション

○ 児童クラブへの出前教室

- 開催時期：7月～8月
(4回程度)



- 内容：第1部は、紙芝居“しろくま物語”で地球温暖化の現実を知り、環境クイズで楽しく学びます。第2部は、お買物を体験し消費者としての学びの時間です。

令和6年度の出前教室模様



令和6年度	令和7年度(概算)
○クイズで学ぶ私達の環境(7年・9年) ○環境クイズ ○お買い物ゲーム	今まで実施したプログラムを活用し、 17 90分間子どもたちが集中し楽しく過ごせるプログラム 全体を二部構成又は三部構成とし、プログラム(資料・動画)を最前線に組み合わせて実施 17 新学期の子どもも自分でも参加できるプログラム 17 買い物体験を活用したプログラム
一部のプログラムを修正し低学年にもわかる環境クイズを採用【試行】 ○クイズで学ぶ私達の環境 ○環境クイズ(○×) お買い物ゲーム	
3回	

し、毎回、改善を続けています。

○ 会員を募集しています

- あなたの周りに、消協の活動に関心のある方はいらっしゃいませんか？ 消協では「賢い消費者になろう」を合言葉に、研修、勉強会、啓発活動を行っています。
- 私達の生活に役立つことを、一緒に学び実践しましょう。ご友人もお誘いいただき是非ご加入ください。

○ 体と環境に優しい石鹼利用を推奨しています。

- お問い合わせは以下までお願いします。

☎ 藤井 真理子 ☎ 090-5179-2056

編集後記

今年もまた猛暑の季節になりました。日本の四季も二極化の様相で、暑さと寒さが一気に来るので、早めの熱中症対策が必要です。これも地球温暖化によるものでしょうか。

7月は児童クラブへの出前教室が始まります。今年は“お買物を通してお金の大切さと使い方”を体験してもらいます。

会員の皆さんもスタッフとして参加しませんか？

